

Violin
Alina Ibragimova

Piano
Cédric Tiberghien

人気急上昇の若手実力派
“妖精”イブラギモヴァと、“貴公子”ティベルギアン。
新世代デュオが3日間にわたってお贈りする、
ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全10曲！

ヴァイオリン
アリーナ・イブラギモヴァ
& セドリック・ティベルギアン
ピアノ

© Sussie Ahlburg 2011

～ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会～

3日間セット券
2月18日(月)10時発売

単券
3月4日(月)10時発売

2013 9月 / 13日(金) / 14日(土) / 15日(日)
PM7:00開演 / PM3:00開演 / PM3:00開演

ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

全指定席 単券 ¥4,000 学生 ¥2,500 セット券 ¥10,000

※学生券およびセット券は電気文化会館チケットセンターのみ取扱い

13日 / Programme I

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ
Beethoven: Violin Sonata

- ・第1番 ニ長調 op.12-1 No.1 in D major, op.12-1
- ・第4番 イ短調 op.23 No.4 in A minor, op.23
- ・第8番 ト長調 op.30-3 No.8 in G major, op.30-3
- ・第7番 ハ短調 op.30-2 No.7 in C minor, op.30-2

14日 / Programme II

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ
Beethoven: Violin Sonata

- ・第5番 ヘ長調 op.24「春」 No.5 in F major, op.24 'Spring'
- ・第2番 イ長調 op.12-2 No.2 in A major, op.12-2
- ・第10番 ト長調 op.96 No.10 in G major, op.96

15日 / Programme III

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ
Beethoven: Violin Sonata

- ・第6番 イ長調 op.30-1 No.6 in A major, op.30-1
- ・第3番 変ホ長調 op.12-3 No.3 in E flat major, op.12-3
- ・第9番 イ長調 op.47「クロイツェル」
No.9 in A major, op.47 "Kreuzer"

【主催・お問合せ】電気文化会館(052)204-1133

チケット
お取扱い

■電気文化会館チケットセンター(052)204-1133 <http://www.chudenfudosan.co.jp>
■チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 [Pコード:192-432]
■芸文PG (052)972-0430 ■ヤマハPG (052)201-5152

ザ・コンサートホール・メイツ
会員募集中!!

主催公演の優先予約&チケット2割引
入会金無料/年会費1,200円

アリーナ・イブラギモヴァ

Alina Ibragimova, Violin (ヴァイオリン)

ロシア生まれ。1997年からメニューイン音楽学校、その後ロンドン王立音楽院で研鑽を積む。

1998年、パリで開催されたユネスコ人権宣言50周年のオープニング・セレモニーで、メニューイン指揮の下、ニコラ・ベネディッティとバッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を共演。その数ヵ月後、ウェストミンスター寺院のメニューインの葬儀で同じ協奏曲の緩徐楽章を演奏した。

いくつかの国際コンクールに入賞の後、2002年にソロ活動を開始、この年にロンドン交響楽団音楽奨学金『シェル賞』を受賞する。これまでに、ナターシャ・ボヤルスキ、ゴルダン・ニコリッチ、クリスチャン・テツラフ、エイドリアン・バターフィールド等に師事。

BBCラジオ3の新進音楽家育成プログラムのアーティストに選出され、バーミンガム市響、フランクフルト放送響、ウィーン室内管弦楽団と協奏曲を共演。さらにザルツブルク音楽祭とヴェルビエ音楽祭で室内楽コンサートを、パリのルーヴル美術館でソロ・リサイタルを行う。またNHK「クラシック倶楽部」とBBCラジオ3の「バッハ・クリスマス・フェスティバル」にも出演する。

2007年ウイグモアホールにデビュー、またフランシス＝グザヴィエ・ロート指揮ロンドン交響楽団の共演でBBCプロムスにデビュー。

2008年、若い優秀な演奏家に与えられるボルレッティ＝ブイトーニ・アワード受賞。2009年、クラシック・ブリット・アワードのヤング・ブリティッシュ・クラシカル・パフォーマー賞受賞。2011年、ロイヤル・フィルハーモニー協会のヤング・アーティスト・アワード受賞。

ゲオルグ・フォン・オベルから貸与されたピエトロ・ガエルネリ製作(1738年)の楽器を使用。



©R.Hotta

CD

- ハルトマン「葬送協奏曲、組曲第1番&2番、ソナタ第1番&2番」(2007年 ハイペリオン)
- ロスラヴェッツ「ヴァイオリン協奏曲第1番&第2番」(2008年 ハイペリオン)
- シマノフスキ「ヴァイオリンとピアノのための作品全集」(2009年 ハイペリオン)
- J.S.バッハ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ」(2009年 ハイペリオン) *『レコード芸術』準特選盤
- ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ集Vol.1、Vol.2、Vol.3」(2010年ウイグモア・ホールにおけるライブ、ウイグモア・ホールレーベル)
- ラヴェル/ルクー「ヴァイオリンとピアノのための作品集」(2011年 ハイペリオン) *『レコード芸術』特選盤
- メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲ホ短調&二短調」(2012年 ハイペリオン) *『レコード芸術』特選盤

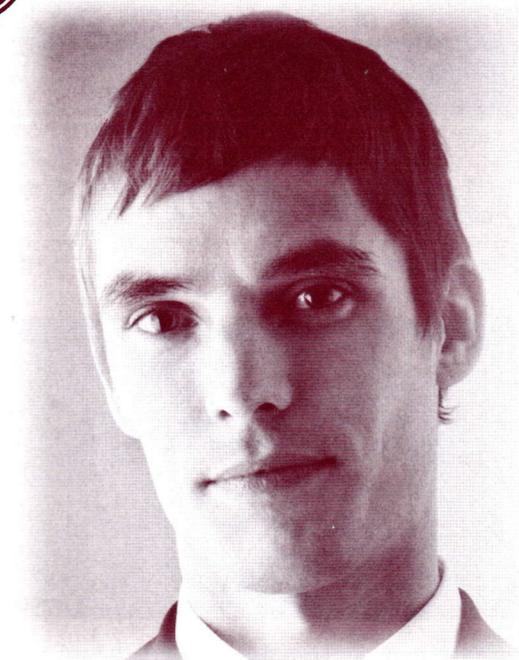
セドリック・ティベルギアン

Cédric Tiberghien, Piano (ピアノ)

パリ国立高等音楽院でフレデリック・アゲシーとジェラルド・フレミーに師事し、1992年、わずか17歳でプルミエ・プリを受賞。その後、複数の国際コンクール(プレーメン、ダブリン、テル・アヴィヴ、ジュネーブ、ミラノ)で入賞。また、1998年のロン＝ティボー国際コンクールでは、優勝と聴衆賞、オーケストラ賞を含む5つの特別賞を受賞。これにより、彼の国際的なキャリアがスタート。7回の日本公演やヨーロッパ全土での披露公演等、世界中で150回を超える公演を行った。

60曲を超える協奏曲のレパートリーを持ち、世界の一流オーケストラと共演を重ねている。室内楽にも熱心に取り組んでおり、特に、アリーナ・イブラギモヴァ(vn)、ソフィー・カルト・ホイザー(S)、ピーター・ウィスベルウェイ(vc)とは定期的にパートナーを組んでいる。室内楽に対する情熱は彼のCDに顕著に表れており、最近では、アリーナ・イブラギモヴァとのラヴェル/ルクー「ヴァイオリンとピアノのための作品集」(ハイペリオン)、シマノフスキ「ヴァイオリンとピアノのための作品全集」(ハイペリオン)、ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ全曲集」(ウイグモアホール、ライブ録音)がある。

最新CDはフランソワ＝グザヴィエ・ロート指揮リエージュ・フィルとの「フランク：交響的変奏曲、交響詩《鬼神》」。その他、ピエロフラーヴェック指揮BBC交響楽団との「ブラームス：ピアノ協奏曲第1番」や、6枚のソロ作品集がハルモニア・ムンディからリリースされている。



BenjaminEalovega